

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	一般社団法人劇団コーロ
公演団体名	一般社団法人劇団コーロ

内容
<p>■実施形態：全体で2時間（授業時間単位で）2部構成に。 1部：全校児童・生徒で。 2部：1クラス（公演当日共演する児童・生徒）で。</p> <p>■内容</p> <p>第1部（45分～50分）： ①作品のあらすじ、みどころを説明。 ②チョボクレ節について木魚を使いながら説明。その後、児童・生徒にその場で両手で膝を叩きながら芝居冒頭の台詞を一緒に語ってもらう。</p> <p>第2部（45分～50分）： ①ウォーミングアップとして発声練習・シアターゲーム等をする。 ②出演場面の稽古（台詞・リズム楽器でのお囃子・踊りの練習）。 グループに分かれて発表し、感想も出し合う。</p>

タイムスケジュール（標準）
第1部（45分～50分） 休憩 ※公演当日参加する学年以外は、退出。 第2部（45分～50分）

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
ワークショップ指導者 5名 感染対策指導者 1名

学校における事前指導
上演校には、ワークショップ実施前に、事前に作品全体がわかるDVD、公演資料、関係する歌詞カード、ワークショップの内容・目的・準備してもらうもの等を記したものを送ります。それに基づき、メールや電話で担当の先生と相談しながら、準備を進めます。 児童・生徒が使用する楽器は、学校のあるものを使用します。 児童・生徒が着用する衣裳（鉢巻・法被）は、劇団が用意します。 コロナ感染状況により、学校と対策について随時相談いたします。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	一般社団法人劇団コーロ
公演団体名	一般社団法人劇団コーロ

演目
「天満のとらやん」 作／かたおかしろう 演出／二世茂山千之丞 演出補／三世茂山千之丞 お囃子指導／藤舎呂浩

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
8名（出演者：6名・舞台スタッフ1名・感染対策のためのスタッフ1名）

タイムスケジュール（標準）
8時：到着 8時～10時：仕込み 10時～12時：リハーサル 13時30分～14時35分：本公演（休憩なし） 撤去：15時～16時 退出：16時30分

実施校への協力依頼人員
コロナ感染の状況により、学校と対策を相談いたします。

演目解説

【あらすじ】

大阪の天満の町に住む“とらやん”が、「まむし井、食べたいわア」というお嫁んのためにうなぎを調理しようとして、うなぎに逃げ出されてしまった。「つかまえてこな、今日の御膳食べさしまへんよってな！」とお嫁んに言われ、“とらやん”はうなぎを追いかけ、大根畑から傘屋町、雷一家が住む雲の上、果ては海の底の竜宮城まで奇想天外な冒険旅行を続ける……。

【みどころ】

- 上手側で出語り太夫がチョボクレ節にのって大阪弁で語り、下手側で和楽器の生の演奏が効果音やお囃子として奏でられ、それに合わせて、役者が舞台中央でマイムで演じていくという、大阪にわか、文楽、狂言等の伝統芸能の様式に即った舞台となっています。
- 舞台背景は絵本形式のパネルを3つ設置していて、場面が変わるごとに、絵本をめくるように背景もかわっていきます。絵の変化が目にも美しい上に、その場면을想像する助けとなっています。
- 6名の出演者の内、出語り太夫、主人公のとらや以外の4名が、入れ代わり立ち代わりして様々な登場人物を演じていきます。その変化を観るのも楽しいものとなっています。
- 衣裳は、基本衣裳を始め、日本の伝統芸能を踏襲したデザインとなっています。
- 客席の両側に、幟を立て、体育館全体を芝居小屋の雰囲気仕立てています。
- このお芝居の様式や和楽器を身近に感じてもらいたく、芝居の前説で、様式や使用している和楽器の特徴を簡単に説明します。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

■参加方法

参加の場面は、ラストの場面（とらやんが旅行を終えて漁師に見送られ天満の町に帰ろうとする場面）。事前のワークショップに参加した児童・生徒が、鉢巻・法被姿になり、学校になるリズム楽器（ギロ・タンバリン・カスタネット等）を使って漁師役の出演者たちと共演します（リズム楽器をたたきながら、身体全体を使って踊ります）。

※児童・生徒が着用する鉢巻・法被は劇団側が用意します。

※舞台の上でなく舞台の下に並んで参加していただきます。

■公演に参加させるための工夫

上演当日は、公演前に、出演する児童・生徒とリハーサルを行ないます（①出演者と顔合わせ、②軽いウォーミングアップ、③セットの紹介、④本番通りにリハーサル）。そして、出演者が入場の誘導を児童・生徒と挨拶を交わしながら行ないます。

児童生徒とのふれあい

- 大根引きの場面：舞台上よりとらやんが「大根引きを手伝って」と語りかけ、児童生徒はその場で（客席で）お囃子のリズムに合わせてとらやんと一緒に大根引きの演技をします